

第21回「顔と心と体」セミナー 参加者募集

講演：梯久美子先生

「アンパンマンはなぜ顔を食べさせるのか
～やなせたかしの『いのちの哲学』～」

2026年2月14日（土） 13:00～15:00

＜理事長 かづきれいこよりメッセージ＞

やなせたかしとその妻暢をモデルにした NHK 連続テレビ小説『あなぱん』は、この9月に終了しました。

「散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道」（新潮社）、「狂うひと—『死の棘』の妻・島尾ミホ—」（新潮文庫）、「原民喜 死と愛と孤独の肖像」（岩波新書）など、数々の評伝を著わされたノンフィクション作家で、当法人顧問の梯久美子先生は、やなせたかし氏が1973年に創刊し、編集長を務められた雑誌『詩とメルヘン』の編集者として、同氏とともに仕事をし、同氏の晩年まで親交がありました。

梯先生は、「やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく」（文春文庫）を今年3月に上梓しています。この本は、やなせたかし氏の「愛と勇気に生きた稀有な生涯」を「評伝の名手が心を込めて綴った同氏の評伝の「決定版」と言われています。また、梯先生は2015年に「勇気の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語」（フレーベル館）と題する、子供向けのやなせたかし氏の伝記も著わされています。これは小学校の教科書にも採用されています。

やなせたかし氏と大変に親交の深かった梯先生に「アンパンマンはなぜ顔を食べさせるのか～やなせたかしの『いのちの哲学』」と題してご講演いただきます。

他では聞けない話、多くの学びのある話を期待しています。どうぞご参加ください。



日 時：2026年2月14日（土） 13:00～14:40
(12:30より受付)

会 場：四谷・新宿付近

定 員：会場 8名／オンライン 40名

参加費：一般：2,500円／当法人正会員：2,000円／学生：無料

スケジュール：12:30～13:00 開場・受付

13:00～14:10 梯久美子先生

「アンパンマンはなぜ顔を食べさせるのか

～やなせたかしの『いのちの哲学』」

14:10～15:00 対談 梯先生×かづきれいこ

申込方法：（公社）顔と心と体研究会 ホームページよりお申込み下さい。

申込締切：2026年2月6日（金）

講師プロフィール（敬称略）

梯 久美子（かけはし くみこ） ノンフィクション作家

1961（昭和36）年熊本県生れ。北海道大学文学部卒業。編集者を経て文筆業に。

『散るぞ悲しき』で2006（平成18）年に大宅壮一ノンフィクション賞を受賞、同書は米・英・仏・伊など世界8カ国で翻訳出版されている。2016年に刊行された『狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ』は翌年、読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、講談社ノンフィクション賞の3賞を受賞した。他の著書に『世紀のラブライター』『昭和二十年夏、僕は兵士だった』『昭和の遺書—55人の魂の記録』『百年の手紙—日本人が遺したことば』『廃線紀行—もうひとつの鉄道旅』『愛の顛末—純愛とスキャンダルの文学史』『原民喜—死と愛と孤独の肖像』など多数。



＜お問い合わせ・申込先＞ 公益社団法人顔と心と体研究会 事務局

Tel: 03-3350-1035（月～金 9:30～18:00 土日祝休み） Fax: 03-3350-0176

E-mail: info@kaokokorokarada.org ホームページ: <https://www.kaokokorokarada.org>

